

働く大人に学ぼう（職場体験学習）

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力

主体性・積極性

自己理解・自らへの自信

1 単元について**(1) 生徒観**

平成28年度「基礎・基本」定着状況調査〔生活と学習に関する知識・実態〕において、『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」という質問に対する肯定的評価は、県平均を2.4ポイント上回っているものの、66.9%に留まっている。また、「授業では課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています」に対しての肯定的評価は、県平均を4.4ポイント下回る33.9%であった。さらに、文部科学省「学校キャリア教育の手引き」を基にしたアンケートを5月に実施したところ、コミュニケーションスキルや協働学習に係わる「人間関係形成・社会形成能力」については80%を超えていたが、「何かをする時、見通しをもって計画的に進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりしていますか」といった「課題対応能力」に対しての肯定的評価は69%と最も低い数値になった。

こうした結果から、自分の考えや気持ちを伝えることや、自分の役割や仕事を見つけ、分担しながら、周囲と力を合わせて行動しようとしていることがわかる。しかし、わからないことやもっと知りたいことがあるときに、自ら課題を見つけ、進んで資料を収集したり、誰かに質問したりするような「課題対応能力」に課題がうかがえる。そのため、この単元を通して、生徒が自ら考え行動する場を多く設定し、生徒の主体性を育む活動を通して、課題発見・解決力の向上を図りたい。

(2) 単元観

本単元は、第1学年の「地域の産業とその継承に取り組んでいる人々」の学習に続くものとして、「地域の活性化のために取り組んでいる人々」として位置付けた単元である。変化の激しい現代社会において、生徒が夢や希望をもって自らの未来を切り拓いていくためには、自ら課題を見つけ、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質・能力を育むことが求められる。本単元は、地域の職場での体験活動や事前、事後の学習を通して、「働くことは」「将来に向けて身に付けたい力とは」という課題を、探究的に調べ学習していくことから、生徒が主体的に活動するために有効な単元であると考えられる。

5日間の職場体験学習を通して、実際に働くことを体験し、働く人たちと接することで、勤労の意義や目的を理解し、進んで働こうとする意欲や態度等を育てていきたい。また、地域の職場で働く人の思いや願いに触れながら、社会人としての基本的なマナーや言葉遣いを含めたコミュニケーション能力を養う体験活動にしていく。さらに、社会における自らの役割や将来の生き方、働き方について考える過程で、新たな自己の課題に気づき、その解決に向けて、よりよい生活や生き方を目指すことにつなげていきたい。こうしたことを通して、これからの生活においても目的意識をもちながら、主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲を育むことができる単元であると考えられる。

また、本単元の学習は、3年次での「地域の課題を解決するために取り組んでいる人々」の学習へとつながり、3年間を通して「地域を通して生き方を考える」ことができる系統的・発展的な学習を行うために有効な単元である。

(3) 指導観

指導にあたって、まず、働く意義について考えさせたい。地元の起業家であるゲストティーチャーの講話や家族等から話を聞き、生徒同士の交流を通して、「人はなぜ働くのか」考えさせる。また、その後の職場体験学習を現在の大学4年生の就職活動スケジュールと同じ流れに沿って取り組ませることで、より本物の生活に迫りたい。

まず、就職活動において、どの時期にどのようなことが行われているのかを知った上で、採用する選考基準や求められている人材について新聞記事等から情報を集めさせる。そこで、働くために必要な力と「今の自分」とを比較し、そのギャップに気付いた上で、職場体験学習を通してどんな力を付けたいか、自分の目標を設定させる。そして、必要な力を身に付けさせるためにはどうしたらよいか、課題解決の方法を提案させ、必要なスキル学習を行っていく。

5日間の職場体験学習では、目標を基に自己評価及び事業所の方に評価していただきながら、職業観・勤労観の新たな見方や考え方の形成につながる情報を得させることをねらいとする。事後学習では、職場体験学習で広がった自己の見方・考え方をポスターにまとめさせる。そして、来年度、職場体験学習を行う1年生に向けてポスターセッションを行うことで、それぞれの体験を共有し、思考力やコミュニケーション能力を養いながら、これからの生活に向けて考えや振り返りを深めさせる活動を取り入れていきたい。

2 単元の目標

地域で働く人々の仕事に対する姿勢や願いを知り、職場体験を通して生じた関心や疑問を探究することで、職業や自分に対する理解を深め、自己の将来の生き方を考える。

3 単元の評価規準

	ア 学習方法に関すること	イ 自分自身に関すること	ウ 他者や社会に関すること
評価規準	①働く人の仕事に対する姿勢や願いを取材し、記録している。 ②課題解決のための学習や方法などの見通しをもち、それに取り組んでいる。 ③自分の考えを、相手や目的、意図に応じて表現している。	①将来の夢や希望を実現するための取組について考え、必要なことを課題として設定している。 ②体験活動から学んだことや、収集した資料に基づき、自分の生き方を考えている。	①職場体験学習を通して積極的にコミュニケーションを図っている。 ②職場体験活動を通して学んだことを、今後、学校や地域社会でどのように関わっていきたいかを考えている。

4 本単元において育成しようとする資質能力とのかかわり

「間違いをおそれず、自分の考えを相手に伝え、前向きに活動に取り組む生徒」(生徒のゴールの姿)

【スキル】課題発見・解決力

- ア 将来設計を考える中で、生徒が自分なりの課題を設定し、主体的に課題を解決しようとする。
- イ 相手や目的、意図に応じて手段を選択し、情報を収集する。
- ウ 調査や体験から得た情報を活用し、思考力・判断力・表現力を育成する。

【意欲・態度】主体性・積極性

- ア 他者と協働して答えのない課題に取り組む意欲をもつ。
- イ 学校内外の人とのかかわりながら、コミュニケーションをとることができる。

【価値観・倫理観】自己理解・自らへの自信

- ア 解決された内容について、相手意識をもって、自分の考えを相手に伝える。
- イ 地域の方へ学習した内容をわかりやすく表現する。
- ウ 働く意義について考え、自己の将来に夢や希望をもつことができる。

5 指導と評価の計画 (全 49 時間)

時数	学習内容	評価	
		単元の評価規準 (評価方法)	資質・能力の 評価規準 (評価方法)
3	<p>情報の収集</p> <p>○必要な情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元オリエンテーションでねらいを知り、学習の見通しをもつ。 ・働く意義について考える。 ・自分の適性を知る。 ・ゲストティーチャー（地域の起業家）の講話を聞く。 	<p>ア② (活動の様子)</p> <p>イ② (活動の様子)</p> <p>ア① (ワークシート)</p> <p>イ① (ワークシート)</p>	<p>【意欲・態度】ア (活動の様子・ワークシート)</p> <p>【スキル】ア (ワークシート)</p>
1	<p>課題の設定</p> <p>○課題意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働くためにはどのような力が必要か考える。 ・働くために必要な力と「今の自分」を比較し、そのギャップに気付いた上で、職場体験学習を通してどんな力を付けたいか考える。 	<p>ア① (ワークシート)</p> <p>イ① (ワークシート)</p>	<p>【スキル】ア (ワークシート)</p>

38	<p style="text-align: center;">情報の収集</p> <p>○必要な情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習する事業所を選択・決定する。 ・現在の大学生の就活スケジュールを知る。 ・就活スケジュールでのプロセスと自己の課題を照らし合わせ、課題解決の方法を考える。 ・就活において必要なスキル学習に取り組む。 ・自分の体験先の仕事に関する疑問をいくつか挙げ、体験時に知るための方法や手段を考える。 ・電話で事業所にアポ取りした上で、事前訪問し、エントリーシートを用いた自己アピールと打ち合わせを行う。 ・先輩の職場体験学習のエピソードを聞き、当日の行動シミュレーションを行う。 ・5日間の職場体験学習に取り組み、「働くということ」について新たな視点を獲得する。 	<p>イ① (ワークシート)</p> <p>ア② (活動の様子) ア③ (エントリーシート)</p> <p>ウ① (活動の様子・しおり)</p> <p>ア① (活動の様子・しおり)</p> <p>ア① (しおり) ア② (活動の様子) ウ① (活動の様子)</p>	<p>【スキル】ア (ワークシート)</p> <p>【スキル】イ (活動の様子) 【スキル】ウ (エントリーシート)</p> <p>【意欲・態度】イ (活動の様子)</p> <p>【スキル】イ (活動の様子)</p> <p>【意欲・態度】イ (活動の様子) 【スキル】イ (しおり)</p>
2	<p style="text-align: center;">整理・分析</p> <p>○収集した情報を整理したり分析したりして思考する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5日間の職場体験学習を振り返り、ランキング付けを用いた新たな発見や気づきを整理する。 ・お世話になった事業所への感謝と自分の成長を伝えるため、視点を定めて礼状を書く。 	<p>ア③ (しおり)</p> <p>ア③ (礼状)</p>	<p>【スキル】ウ (しおり・ワークシート)</p> <p>【価値観・倫理観】イ (礼状)</p>
4	<p style="text-align: center;">まとめ・創造・表現</p> <p>○気づきや発見、考えなどをまとめ、表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターセッションを行い、職場体験学習を通してわかったこと、考えたことなどをポスターにまとめ、発表する。 	<p>ア③ (ポスター) イ② (ポスター) ア③ (活動の様子)</p>	<p>【スキル】ウ (ポスター・活動の様子)</p> <p>【価値観・倫理観】ア (活動の様子)</p>
1	<p style="text-align: center;">振り返り</p> <p>○自分の生き方を見つめ直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分の生活を振り返り、将来の進路に結び付けた生き方考える。 	<p>ウ② (ワークシート)</p>	<p>【価値観・倫理観】ウ (ワークシート)</p>

6 本時の学習 (1/49 時間)

(1) 本時の目標

働く意義を考えることにより、働くことや職業への興味・関心をもつことができる。

働くことや仕事に対する多様な考えから、働くことへの重要性や大切さを理解することができる。

(2) 本時の展開例

授業システム	学びのサイクル	学習内容	指導上の留意点	評価規準 単元の評価規準 (○) 資質・能力の評価規準 (★) (評価方法)
① ② ③ ④	つかむ・見通す	○40歳の自分を考える。 ・どこでどのような生活を送っているのか、何をして働いているか、考える。 ○自分の価値観について考える。 ・苦勞しても働きたい ・趣味の時間を持ちたいなど	・「職場体験学習ガイダンス」を読み、職場体験学習のねらいについて理解させる。	○ア② (活動の様子)
		○めあてを知る。 ・7月4日～8日まで職場体験学習があり、働くことについて考えていくことを知る。		
めあて：「人はなぜ働くのか」考えてみよう。				
⑤	考える	○ワークシート1の「1働くことで達成できると思われる項目」に順位をつける。 ○1で記入したものを参考に「なぜ、人は働くのだろうか？」について、自分の考えをワークシートに記入する。	・それぞれの価値観があり、自由に記入させる。	
⑥	深める	○4人グループで自分で書いたものを発表し、交流する。 ○グループ交流を通して、感じたことをワークシートに記入する。	・無理に1つにまとめさせない。 働く意義について、多様な意見を肯定的に捉えさせる。 ・何人かの生徒に発表させる。 ・経済面 (収入) だけでなく、「自分の適性」や「社会や人のため」ということにも注目させる。 →「自分の適性」について、次の時間に学習することを伝える。	★【意欲・態度】ア (活動の様子・ワークシート)

⑦	まとめる	○今日の学習を振り返り、「4 あなたの就きたい職業・理由」を記入する。		
⑧	ふりかえる	<p>まとめ：「人はなぜ働くのか」について、自分はお金のためと思っていたけど、他の人は「家族のため」とか「社会の役に立ちたい」と言っていた。自分にはない考えだったのですごいと思った。自分の親にも聞いてみたいと思った。</p>		
		○ワークシート2で今後の職場体験学習の流れを確認する。		

6 本時の学習 (2/49 時間)

(1) 本時の目標

自分の適性を知り、自分の興味や長所を生かせる仕事について考えることができる。

(2) 本時の展開

授業システム	学びのサイクル	学習内容	指導上の留意点	評価規準 単元の評価規準 (○) 資質・能力の評価規準 (★) (評価方法)
① ② ③ ④	つかむ・見通す	○前時に記入した自分の就きたい職業について振り返る。 ○めあてを知る。	・自分の適性を知ることによって、自分自身が気付いていないが、向いている職業があるかもしれないことを気付かせる。	
めあて：自分の適性について知ろう。				
⑤ ⑥ ⑦	考える 深める まとめる	○適職発見ゲームを行う。 ・60 問の質問に答え、「はい」なら○、「いいえ」なら×、「どちらでもない」ならば△を表につける。 ・それぞれの質問の結果を○=2点、△=1点、×=0点として計算し、合計点から自分の適性や自分にあった職業を知る。 ○ペアで交流する。 ○ワークシートに「結果をみての感想」を記入する。	・新たな発見や気付きについて互いに交流させる。	○イ② (活動の様子)
まとめ：適職発見ゲームを通して、これまで考えていなかった職業が自分に向いていることを知って驚いた。また、友達と交流して、友達の意外な一面も知ることができて面白かった。				
⑧	ふりかえる	○次時の学習内容を確認する。	・ゲストティーチャーから、「働くこととは」「自分の適性と職業について」等、話をさせていただくことを伝える。	

6 本時の学習(3, 4/49 時間)

(1) 本時の目標

ゲストティーチャー（地域の起業家）の講話を聞き、働くためにはどのような力が必要か考えることができる。

働くために必要な力と「今の自分」とを比較し、職場体験学習を通してどんな力を付けたいか考えることができる。

(2) 本時の展開

授業システム	学びのサイクル	学習内容	指導上の留意点	評価規準 単元の評価規準 (○) 資質・能力の評価規準 (★) (評価方法)
① ② ③ ④	つかむ・見通す	○ゲストティーチャー（地域の起業家）の講話を聞く。 ○めあてを知る。	・中学生の頃の夢や起業した理由、仕事のやりがいや大変なこと、どんな人材を求めているか等、話してほしい内容を事前に伝え、打ち合わせをしておく。 ・講話を聞きながらメモさせる。	○ア①（ワークシート）
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> <p>めあて：働くために必要な力を考え、今の自分と比較してみよう。</p> </div>				
⑤	考える	○事業所（企業）で働く時に必要な力について考える。 ○グループで交流する。 ○事業所（企業）が求める能力について知る。	・講話での話を参考にしながら、考えさせる。 ・「若者と就職をめぐる現状」の記事を紹介し、事業所（企業）が求める能力と若者の現状とではギャップがあることを知らせる。	
⑥	深める	○今の自分を振り返る。	・「今の自分に身に付いている力とは」「今の自分に身に付いていないので、努力した方が良い力とは」の視点でまとめさせる。	○イ①（ワークシート） ★【スキル】ア（ワークシート）
⑦	まとめる	○職場体験学習を通して、どのような力を付けたいか考える。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto;"> <p>まとめ：働くためには「コミュニケーション能力」がとても大切だとわかった。私は大きい声を出すことが苦手なので、大きな声であいさつや返事をしていきたい。そして、職場体験学習中に分からなかったり迷ったりしたときには、自分勝手な行動をせず、事業所の方とコミュニケーションを取り、きちんと確認して行動したい。</p> </div>				
⑧	ふりかえる	○職場体験学習の希望業種、希望理由を記入する。	・職場体験学習を通して、どのような力を付けたいのか、なぜその事業所を希望するのか、具体的に理由を書かせる。	

6 本時の学習(5/49 時間)

(1) 本時の目標

現在の大学生の就職活動（就活）スケジュールを知り，就活スケジュールのプロセスと自己の課題を照らし合わせ，課題解決の方法を考えることができる。

(2) 本時の展開

授業システム	学びのサイクル	学習内容	指導上の留意点	評価規準 単元の評価規準 (○) 資質・能力の評価規準(★) (評価方法)
① ② ③ ④	つかむ・見通す	○前時に記入した「職場体験学習を通して付けたい力」について振り返る。 ○めあてを知る。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> めあて：実際の就活スケジュールにおいて，付けたい力がどの場面で必要かを知り，解決方法を考えよう。 </div>				
⑤	考える	○今年の大学4年生の就職活動（就活）スケジュールを知り，それぞれの設定した付けたい力がどの場面で必要かを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生の活動内容を知り，各自で設定した「職場体験学習を通して付けたい力」が実際の就活においても必要であることを理解させる。 ・就活の時期や内容について触れる。それぞれの項目について，どういうものなのか，何をするのか，具体的に説明し，確認させる。 	
⑥	深める	○職場体験学習に向けて，各自が設定した付けたい力を身に付けるためにはどうしたらよいか，解決方法を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活の中でできること」「学校にお願いすること」「学校外でできること」「学校外にお願いすること」の項目に記入させる。 	○イ①(ワークシート) ★【スキル】ア (ワークシート)
⑦	まとめる	○ペアで交流をする。 ○全体で発表をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に出てきたものを参考にし可能なものは学校で取り組んでいくことを伝える。 	
⑧	ふりかえる	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> まとめ：「コミュニケーション能力」は，就職活動における面接やグループディスカッションの場面で必要だと感じた。面接では，みんなの話を聞いて，自分の意見を伝えていくことが大切で，普段の授業でも，意識して取り組んでいきたいと思った。また，よい印象をもってもらうために，面接でのマナーについて学びたい。 </div>		

6 本時の学習(6/49 時間)

(1) 本時の目標

職場体験学習に向けて、自分たちで考えた解決方法で、スキル学習に取り組むことができる。

(2) 本時の展開

授業システム	学びのサイクル	学習内容	指導上の留意点	評価規準 単元の評価規準 (○) 資質・能力の評価規準(★) (評価方法)
① ② ③	つかむ・見通す	○マナー学習を実施する意味を確認する。	・前時に出された解決方法の中に、電話でのアポイントメントや面接の場面での所作、また、実際の体験における礼儀等を学びたいという生徒が多かったことを紹介する。	
④		○めあてを知る。	めあて：マナー講座を通して、社会人として必要な力を身に付けよう。	
⑤	考える	○講師の紹介を聞く。 ○課題をもって講座を受講する。 ・マナーの意義や必要性 ・挨拶や礼、言葉遣いの練習 ・表情の作り方	・外部講師の講話、演習により、電話の対応や礼儀等のふるまいについて意識を高めさせる。 ・ペア活動を通して、客観的に評価させる。	○ア② (活動の様子) ★【スキル】イ (活動の様子)
⑥	深める	・職場体験学習に向けての心構え等		
⑦	まとめる	○学習の振り返りを行う。	まとめ：面接では、「何を話すか」だけでなく、その人から受ける印象がとても大切なことがわかった。よい印象をもってもらうために、表情や動きに気を付けながら行動していきたい。	
⑧	ふりかえる	○次時の学習内容を確認する。	・体験先が決定し、エントリーシートを記入することを伝える。	

6 本時の学習(7,8/49 時間)

(1) 本時の目標

職場体験学習に向けて、自分の適性或課題を明らかにしながら、エントリーシートを記入することができる。

(2) 本時の展開

授業システム	学びのサイクル	学習内容	指導上の留意点	評価規準 単元の評価規準 (○) 資質・能力の評価規準(★) (評価方法)
① ② ③ ④	つかむ・見通す	<ul style="list-style-type: none"> ○職場体験学習の目的や自分が付けた力について振り返る。 ○職場体験学習を行う事業所を知る。 ○めあてを知る。 		
<p>めあて：自分の目標や良いところが伝わるエントリーシートを書こう。</p>				
⑤ ⑥	考える 深める	<ul style="list-style-type: none"> ○エントリーシートの内容を確認する。 ○エントリーシートの下書きを書く。 ○エントリーシートの清書をする。 ○エントリーシートを提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に会社で用いられているエントリーシートを参考にしたもので、これを用いて実際に事前訪問することを伝える。 ・志望理由については、将来の希望の記述のみにならないように、どんな課題があつてそれをどのように克服したいのか、体験を通してどのような力を付けたいか、具体的に記入することを確認させる。 ・自己 PR には、自分の長所をどのように生かすのかという視点で記入することを確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ア③ (エントリーシート) ★【スキル】ウ (エントリーシート)
⑦	まとめる	<p>まとめ：エントリーシートは「これからどうしていきたいか」といった未来を記入することが分かった。自分のよさや職場体験学習を通して身に付けた力、目標を、自分の課題と関わらせながら、エントリーシートに記入することができた。</p>		
⑧	ふりかえる	<ul style="list-style-type: none"> ○次時の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話対応の練習を行い、事前訪問の予約を取ることを伝える。 	

6 本時の学習(9, 10/49 時間)

(1) 本時の目標

電話対応の方法を学習し、事前訪問のアポイントメントを取ることができる。

(2) 本時の展開

授業システム	学びのサイクル	学習内容	指導上の留意点	評価規準 単元の評価規準 (○) 資質・能力の評価規準(★) (評価方法)
① ② ③ ④	つかむ・見通す	○めあてを知る。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>めあて：事前訪問に向けて、事業所にアポイントメントを取ろう。</p> </div>				
⑤	考える	○事前訪問で確認することを事業所ごとのグループに分かれ、まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習のしおりを活用しながら確認させる。 ・交通手段等、分からない場合はネットで調べさせる。 	
⑥	深める	○電話によるアポイントメントの取り方について各事業所で考える。 ○事業所ごとに練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者がいない、電話に出られない、日程が合わない等の様々な状況に対応できるような内容を考えさせる。 ・確認が必要なことについては、改めて連絡することを伝えるよう確認させる。 ・マナー講座で学習した言葉遣いを意識させる。 	○ウ① (活動の様子・しおり)
⑦	まとめる	○事前訪問の依頼の電話をする。 ○電話での打ち合わせの内容を各事業所でまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーに電話をさせる。それ以外のメンバーは、職場体験学習中に事業所の方にインタビューする内容を考えさせる。 	★【意欲・態度】イ (活動の様子)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>まとめ：事前訪問に向けて、よい印象をもってもらえるように、声の大きさや言葉遣いに気を付けながら、アポイントメントを取ることができた。</p> </div>				
⑧	ふりかえる	○次時の学習内容の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に事業所に事前訪問することを伝える。 	

6 本時の学習(12/49 時間)

(1) 本時の目標

3年生の先輩から昨年度の職場体験学習でのエピソードを聞き、「働くうえで自分が大切にしたいこと」について考え、間近に迫った職場体験学習への意欲を高める。

(2) 本時の展開

授業システム	学びのサイクル	学習内容	指導上の留意点	評価規準 単元の評価規準 (○) 資質・能力の評価規準 (★) (評価方法)
① ② ③ ④	つかむ・見通す	○前時の振り返りをする。 ○めあてを知る。	・職場体験学習に向けて事前訪問を終え、来週からはよいよ職場体験が始まることに触れる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> めあて：働くうえで自分が大切にしたいことをまとめよう。 </div>				
⑤	考える	○「先輩が経験した職場体験学習でのエピソード」について映像で観ながら、キーワードを付箋に記入する。	・楽しかったことや褒められたことだけでなく、失敗したこと、怒られたことなど、自分が体験したエピソードを3年生に話してもらおう。 ・なぜ「楽しかったのか」「褒められたのか」を考え、キーワードを記入させる。→ピンクの付箋 なぜ「失敗したのか」「怒られたのか」を考え、キーワードを記入させる。→ブルーの付箋	○ア①（活動の様子・しおり） ★【スキル】イ（活動の様子・しおり）
⑥	深める	○グループで意見交換をする。 ○発表する。	・なぜ、そう感じたのか、そうなったのか、理由についてもグループで意見交換させる。 ・多様な意見を発表させる。	
⑦	まとめる	○本時のまとめをする。	・事業所に行ったつもりでしおりの「職場体験学習直前シミュレーションシート」に記入させる。 ・職場体験学習に向けて意欲を高めさせる。	
⑧	ふりかえる			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> まとめ：先輩の体験談から、働くうえで大切なことが「時間を守る」「あいさつ」「掃除」だとわかった。特に大きな声であいさつをして、明るくはきはきした声で受け答えができるようにしていきたいと思った。 </div>				
		○職場体験学習中の振り返りについて確認する。 ○職場体験学習後のまとめについて確認する。	・帰宅したら、毎日しおりに振り返りをすることを伝える。 ・プリントを用いて、礼状を書いたり、ポスターセッションをすることを事前に伝えておく。	

6 本時の学習(13~42/49 時間)

(1) 本時の目標

5日間の職場体験学習を通して、働くことについての新たな自己の見方や考え方を得ることができる。

働くことを通して、これからの進路選択や自分の生き方について深く考えることができる。自分たちの町にある職場で体験をすることで、地域に目を向け、地域とのつながりについて理解を深めることができる。

(2) 本時の展開

学習内容	指導上の留意点	評価規準 単元の評価規準 (○) 資質・能力の評価規準 (★) (評価方法)
<p>○各事業所において、職場体験学習を行う。</p> <p>・しおりにある「活動の記録」を5日間、毎日記入する。</p> <p>・事業所の方にインタビューをする。</p> <p>・リーダーは帰宅したら、毎日学校に電話をする。</p>	<p>・事前に結団式を行い、目的を明確にして職場体験に参加させる。</p> <p>・生徒の様子を把握するために、事業所を巡回し、事業者への聞き取りをする。</p> <p>・1日の振り返りの状況を把握するために、しおりにある「活動の記録」を確認する。</p> <p>・事業所に「職場体験評価表」をお願いする。</p>	<p>○ア① (しおり)</p> <p>○ア② (活動の様子)</p> <p>○ウ① (活動の様子)</p> <p>★【意欲・態度】イ (活動の様子)</p> <p>★【スキル】イ (しおり)</p>

6 本時の学習(43/49 時間)

(1) 本時の目標

自己設定した課題を踏まえ、職場体験学習を振り返り、具体的にまとめることができる。
「働くうえで大切なこと」について、理由と共に伝えることができる。

(2) 本時の展開

授業システム	学びのサイクル	学習内容	指導上の留意点	評価規準 単元の評価規準 (○) 資質・能力の評価規準(★) (評価方法)	
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	つかむ・見通す	○めあてを知る。			
		めあて：職場体験学習を振り返り、しおりをまとめよう。			
	考える	○職場体験学習を振り返り、しおりをまとめる。 ・自己設定した課題を踏まえ、体験したことを分かりやすくまとめる。	・「自己設定した付けたい力を身に付けることができたか」「うれしかったこと、感動したこと、大変だったこと」「友達から学んだこと」「自信をもったこと」「とっておきのエピソード」「働くこととは」について、まとめさせる。 ・今後の生活との関わりについても考えさせる。 ・個人の評価シートを利用しながら、客観的に振り返らせる。	○ア③ (しおり) ★【スキル】ウ (しおり・ワークシート)	
		深める	○「働くうえで大切なこと」を考える。 ・ペアで交流する。	・「働くうえで大切なこと」をランキング形式で記入させる。 ・なぜ、そのように感じたのか、理由を述べながら交流させる。	
	まとめる	○学習の振り返りをする。	まとめ：職場体験学習を振り返り、しおりをまとめる中で、「気持ちのいいあいさつをすること」「丁寧に掃除をすること」を今後学校生活で心がけていきたい。職場体験学習を通して、学校生活をきちんと過ごしていけば、将来役に立つことが多いことを実感した。		
	ふりかえる	○次時の学習内容を確認する。	・今回まとめたものを活用しながら、事業所のお世話になった方に礼状を書くことを伝える。		

6 本時の学習(44/49 時間)

(1) 本時の目標

お世話になった事業所への感謝と自分の成長が伝わる礼状を書くことができる。

(2) 本時の展開

授業システム	学びのサイクル	学習内容	指導上の留意点	評価規準 単元の評価規準 (○) 資質・能力の評価規準(★) (評価方法)
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	つかむ・見通す 考える 深める まとめる ふりかえる	<p>○めあてを知る。</p> <div data-bbox="451 571 1359 633" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>めあて：お世話になった事業所に、気持ちが伝わる礼状を書こう。</p> </div> <p>○礼状に書く内容を確認する。</p> <p>○礼状の下書きをする。</p> <p>○礼状の清書をする。</p> <p>○学習の振り返りをする。</p> <div data-bbox="427 1346 1417 1503" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>まとめ：お世話になった事業所へ、気持ちが伝わるように礼状を書いた。特に、学校生活で頑張りたい「あいさつ」と「掃除」について、具体的に書くことができた。</p> </div> <p>○次時の学習内容を確認する。</p>	<p>指導上の留意点</p> <p>・お世話になった事業所への感謝と自分の成長を伝えさせるため、前時にまとめたしおりを活用しながら、次の視点で礼状を書くことを確認させる。</p> <p>①職場体験学習を通しての自分の成長</p> <p>②「働くこと」とは</p> <p>③今後の学校生活に向けて</p> <p>・ポスターセッションに向けて、まとめていくことを伝える。</p>	<p>○ア③ (礼状)</p> <p>★【価値観・倫理観】イ (礼状)</p>

6 本時の学習(45~47/49 時間)

(1) 本時の目標

職場体験学習の学びをポスターにまとめることができる。

ポスターセッションに向けて、ポスターにまとめた内容を、きちんと伝えられるよう練習することができる。

(2) 本時の展開

授業システム	学びのサイクル	学習内容	指導上の留意点	評価規準 単元の評価規準(○) 資質・能力の評価規準(★) (評価方法)
① ② ③ ④	つかむ・見通す	○職場体験学習のねらいを再確認し、ポスターにまとめる内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生に向けて、ポスターセッションを行うことを伝える。 ・次の内容をポスターに必ず記入することを確認させる。 <ul style="list-style-type: none"> ①仕事内容や1日のスケジュール ②職場体験学習を通しての自分の成長 ③「働くこと」とは ④今後の学校生活に向けて ⑤1年生に向けてメッセージ 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>めあて：職場体験の学びをポスターにまとめ、それを伝える練習をしよう。</p> </div>				
⑤	考える	<ul style="list-style-type: none"> ○ポスターの下書きをする。 ○ポスターの清書をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・字体や配色を工夫させ、写真やイラストを用いながら、視覚的にも分かりやすいポスターになっているか確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ア③ (ポスター) ○イ② (ポスター)
⑥	深める	<ul style="list-style-type: none"> ○ポスターの内容を伝える練習をする。 ○各グループで発表会を行い、相互評価を行う。 ○学習の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担し、声の大きさ、スピード、表情等、意識しながら練習させる。 ・各項目について相互評価を行い、ポスターセッションに向けて改善することを確認させる。 	<p>★【スキル】ウ (ポスター・活動の様子)</p>
⑦	まとめる	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>まとめ：職場体験学習で学んだことを、ポスターを使って具体的に伝えられるよう、声の大きさやスピード、表情に気を付けながら練習することができた。また、相互評価を通して他のグループと比較することができ、よいところをまねしようと思った。</p> </div>		
⑧	ふりかえる	○次時の学習内容を確認する。	・体育館で1年生に向けてポスターセッションすることを伝える。	

6 本時の学習(48/49 時間)

(1) 本時の目標

ポスターセッションを通して、職場体験学習の学びを1年生に伝えることができる。

(2) 本時の展開

授業システム	学びのサイクル	学習内容	指導上の留意点	評価規準 単元の評価規準 (○) 資質・能力の評価規準 (★) (評価方法)
① ② ③ ④	つかむ・見通す	○めあてを確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて：ポスターセッションを通して、職場体験学習の学びを1年生に伝えよう。</div>				
⑤	考える	○ポスターセッションを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生に対して、前時の練習を生かしながら発表させる。 ・1年生には、事前に質問したいこと、聞いてみたいことを考えさせておく。ワークシートをファイルに挟ませ、メモしながらまわらせる。 ・50分間でなるべく多くの事業所をまわらせる。 ・1年生に、感想・意見及び職場体験に行ってみたい事業所を選ばせ、ワークシートに書かせる。 ・来年度職場体験学習を行う1年生に評価をしてもらうことで、自信や次の活動への意欲につなげていく。 	○ア③ (活動の様子) ★【価値観・倫理観】 ア (活動の様子)
⑥	深める			
⑦	まとめる	○ポスターセッションのまとめをする。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まとめ：1年生に向けて、仕事の内容だけでなく、働く意義や働くうえで大切なことを伝えようと発表した。そして、楽しかったことや褒められたことだけでなく、失敗したことや怒られたことなど、体験したエピソードを伝えることができた。</div>				
⑧	ふりかえる	○次時の学習内容を確認する。	・これまでの学習を振り返り、これからの自分を考えることを伝える。	

6 本時の学習(49/49 時間)

(1) 本時の目標

これまでの学習を振り返り、これからの自分について考えることができる。

(2) 本時の展開

授業システム	学びのサイクル	学習内容	指導上の留意点	評価規準 単元の評価規準 (○) 資質・能力の評価規準(★) (評価方法)
① ② ③ ④	つかむ・見通す	○めあてを知る。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> めあて：これまでの学習を振り返り、これからの自分を考えよう。 </div>				
⑤	考える	○職場体験学習を通して、自分の課題や身に付けたい力について考える。 ○3学期の終わりに、目標に対しての自己評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの学習や生活等に向け、具体的な目標を考えさせる。 ・自己の将来に結び付けながら考えさせる。 ・職場体験学習時と比較し、どのような違いが見られるか考えさせる。 ・成果と課題を出させる。 	○ウ②(ワークシート) ★【価値観・倫理観】ウ(ワークシート)
⑥	深める	○4人グループで交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの発表に対して、ワークシートにコメントを書かせる。 	
⑦	まとめる	○自分の将来に結びつけながら、3年生に向けての目標や課題を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアノートに記入させる。 	
⑧	ふりかえる	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> まとめ：職場体験学習を通して、目標に向かって努力することの大切さを感じることができた。将来に向けて、今何をすべきか、ワークシートにまとめることができた。 </div>		